

中・四国アメリカ文学会第 35 回大会プログラム

期日 平成 18 年 6 月 10 日(土)・11 日(日)

会場 愛媛大学総合情報メディアセンター(1 階)メディアホール
〒790-8577 松山市文京町 3 番
(TEL : (089)927-9220 FAX : (089)927-9211)

第 1 日 6 月 10 日(土)

受付 (12:20 ~ 13:20)

開会式 (13:20 ~ 13:30)

研究発表 (13:45 ~ 16:40)

開会の辞 会長 田中 久男

- | | | |
|---|-----------------|----------------------|
| 1. Horatio Alger, Jr. の <i>Tattered Tom</i> における浮浪少女 | (13:45 ~ 14:25) | 司会 稲田 勝彦 (比治山大) |
| | | 発表 本岡 亜沙子 (広島大学[院]) |
| 2. Keats と Faulkner——異教的世界と <i>Cold Pastoral</i> について | (14:25 ~ 15:05) | 司会 藤本 幸伸 (広島文教女子大) |
| | | 発表 川口 千富美 (福岡大[非常勤]) |
| (休憩 15 分) | | |
| 3. Toni Morrison の芸術とポリティックス | (15:20 ~ 16:00) | 司会 吉岡 志津世 (神戸女子大) |
| —— <i>Beloved</i> とオペラ <i>Margaret Garner</i> を中心に | | 発表 森 あおい (広島女学院大学) |
| 4. “Hawthorne and His Mosses”における“blackness”の二重性について | (16:00 ~ 16:40) | 司会 西前 孝 (岡山大) |
| | | 発表 藤吉 清次郎 (活水女子大) |

特 別 講 演 (17:00～18:00)

講師 折島 正司 氏 (青山学院大学)

演題 アメリカン・ゴシックと「不気味なもの」

司会 林 康次 氏 (愛媛大学)

懇 親 会 (18:30～20:30)

会場 伊予鉄会館 クリスタルホール 5F

司会 小野 紳一郎 氏 (松山東雲女子大学)

会費 6,000 円

第 2 日 6 月 11 日(日)

シンポジウム (9:30～12:30)

極西部時代と Mark Twain

司 会 市川 博彬 (島根大学名誉教授)

- | | |
|--|---------------------|
| 1. ダブル・クロス・ゲーム——1860 年から 1869 年の Samuel L. Clemens | 発題 辻 和彦 (福井大学) |
| 2. <i>Roughing It</i> 試論——笑いの変質と exile の想像力 | 発題 水野 敦子 (山陽女子短期大学) |
| 3. Mark Twain の初期作品について——ジャーナリストから作家へ | 発題 大宮 健史 |
| 4. 金と権威と書くことと——初期作品における書くことの重要性 | 発題 和栗 了 (京都光華女子大学) |
| 5. サムからマークへ：作家トウェインの誕生 | 発題 市川 博彬 |

総 会 (12:30～12:50)

議 長

会 長 田中 久男

閉 会 式 (12:50～13:00)

閉会の辞

副会長 林 康次

【お知らせ】

1. 「会報 45 号」は発表レジュメとなっております。当日御持参下さい。
2. 懇親会・役員会への御出欠については、同封の葉書を 5 月 26 日(金)までに御投函下さい。
3. 会費納入 (本部会費 4,000 円、支部会費 4,000 円[学生会員 3,000 円]) は同封の振替用紙にて宜しくお願い申し上げます。
4. 研究発表・シンポジウム等の開始時刻が昨年度とは異なっておりますので御注意下さい。